

令和7年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【沼影小学校】

⑥	次年度への課題と学力向上策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と学力向上策	
	学習上・指導上の課題	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	<学習上の課題> 国語科では言葉の特徴や使い方に関する事項と読むことに関する事項について、算数科では数と計算分野について課題がみられる。 <指導上の課題> 学習内容について課題の把握と振り返りの時間の確保が徹底できていない。	⇒ 児童や学級の課題に応じて「ドリルパーク」等のICTを活用した教材やミニテスト等の反復演習に取り組む。【週1回程度のペースで実施】 日常の学習の中で5分以内の短時間の習熟や振り返りの時間を確保し、既習事項の定着を図る。【毎時間設定】
思考・判断・表現	<学習上の課題> 特に算数科において図形やデータの活用のように思考や表現が伴う問題に課題がみられる。 <指導上の課題> 児童自ら課題や問いをみつける指導が徹底できていない。	⇒ 「個別最適な学び」「協働的な学び」を基にした「真の学力」の育成を目指し、全教職員が取り組む。特に活動の中でICT(クラウド)環境を活用した共同編集等の協働的な学びを取り入れ、自らの考えを他者と比較・検討しながら、進んで考え表現できるようにする。さいたま市学習状況調査「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができるか」の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上を目指す。【通年・1日1時間以上】

⑤	評価(※)	学力向上策の実施状況
知識・技能		①結果分析(管理職・学年主任等) ②詳細分析(学年・教科担当) ③分析共有(児童生徒の実態把握) 職員会議・校内研修等
思考・判断・表現		

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	国語科、算数科、理科ともに、埼玉県、全国の平均値を大きく上回っている。特に、理科においては、平均を大きく超えることができた。国語科の情報の扱い方に関する事項においては、平均は上回っているが、平均値に近い数値である。情報と情報との関係付けの仕方や図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができるよう、情報処理能力を高めていく。	
思考・判断・表現	知識・技能同様に、埼玉県・全国の平均値を大きく上回っている。今後は、自分で新たな問題を見だし、多様な方法で表現することができるよう力をつけていく。	

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告		中間期見直し
	評価(※)	学力向上策の実施状況	学力向上策【実施時期・頻度】
知識・技能	B	全教職員が、個別最適・協働的な学びを意識し、授業に臨んでいる。短時間の習熟や振り返りの時間を確保し、既習事項の定着は図れているが、ICTを活用した反復練習にはまだ課題がある。	変更なし
思考・判断・表現	B	ICT(クラウド)機器を活用した協働的な学びの実践においては、課題があるため、今後研修等を通し、効果的なICTの活用技術を高めていくことが必要である。自分の考えを他者と比較検討しながら進んで考え表現できる授業をほぼ全教職員が行っている。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(おおむね達成) C 6割未満(あと一歩)